

令和 6 年飯山市野々海川土砂崩落経過報告【第 3 報】

令和 6 年 (2024 年) 7 月 24 日現在

1、発災時等経過

(1) 発災時の状況

4 月 12 日 (金) 西大滝区民から野々海川の濁りを区長へ報告

4 月 13 日 (土) 西大滝区でドローン調査し、野々海川上部で土砂崩落を確認

4 月 15 日 (月) 西大滝区長から飯山市へ状況報告

※以後、北信地域振興局、北信建設事務所、飯山市、西大滝区で連携して調査、応急対応

(2) 土砂災害の規模

①推定崩落土砂 面積：1.9ha

土量 57,490 m³

②山腹推定残留土砂 面積：4.1ha

土量：34,872 m³

2、本部の体制

4 月 15 日 (月) 17:50 飯山市警戒本部 設置

3、会議等の開催

4 月 16 日 (火) 13:00 警戒本部会議 (第 1 回)

4 月 19 日 (金) 18:00 西大滝区住民説明会

北信地域振興局、北信建設事務所、飯山市、西大滝区民等

4 月 23 日 (火) 8:35 警戒本部会議 (第 2 回)

5 月 13 日 (月) 9:15 庁議 (大雨情報による対応方針を協議)

5 月 14 日 (火) 13:00 警戒本部会議 (第 3 回)

5 月 14 日 (火) 18:00 西大滝区評議委員会説明会

5 月 27 日 (月) 17:30 前線及び台風 1 号による対応方針協議

(市長、総務部長、危機管理防災課長)

7 月 8 日 (月) 9:00 警戒本部会議 (第 4 回)

7 月 12 日 (金) 18:30 西大滝区住民説明会

4、避難情報の発令 なし

5、避難所の開設

・4 月 15 日 (月) ~22 日 (月) まで終日、岡山地区活性化センターを
自主避難所として開設 (避難者なし) 【4 月 23 日 (火) 以降、一旦閉所】

・5 月 28 日 (火) 前線及び台風 1 号により自主避難所開設 (避難者なし)

・7 月 12 日 (金) 自主避難所体制の解除

※今後、大雨や長雨などによる天候悪化や区からの要望に応じて適宜開設予定

6、交通規制等

4月17日(水) 野々海川上流へ向かう市道10-370号を通行止め

7、被災状況

人的被害、家屋等の被害、道路等被害、農業施設、
農作物等被害、公共施設の被害 なし

8、対応状況

【北信地域振興局(林務課)】

- ・4/22～現地測量調査、調査結果をもとに今後の応急、復旧方法を検討
- ・5/1 現地測量調査の速報を市担当課へ説明
- ・7/2 流出土砂解析結果を市担当へ説明

【北信建設事務所(整備課)】

- ・4/16～警報センサー2か所、赤色灯・サイレン3カ所設置
- ・4/26～監視カメラ設置
- ・緊急時の関係機関連絡体制の整備
- ・6/3 野々海川警戒サイレン試験

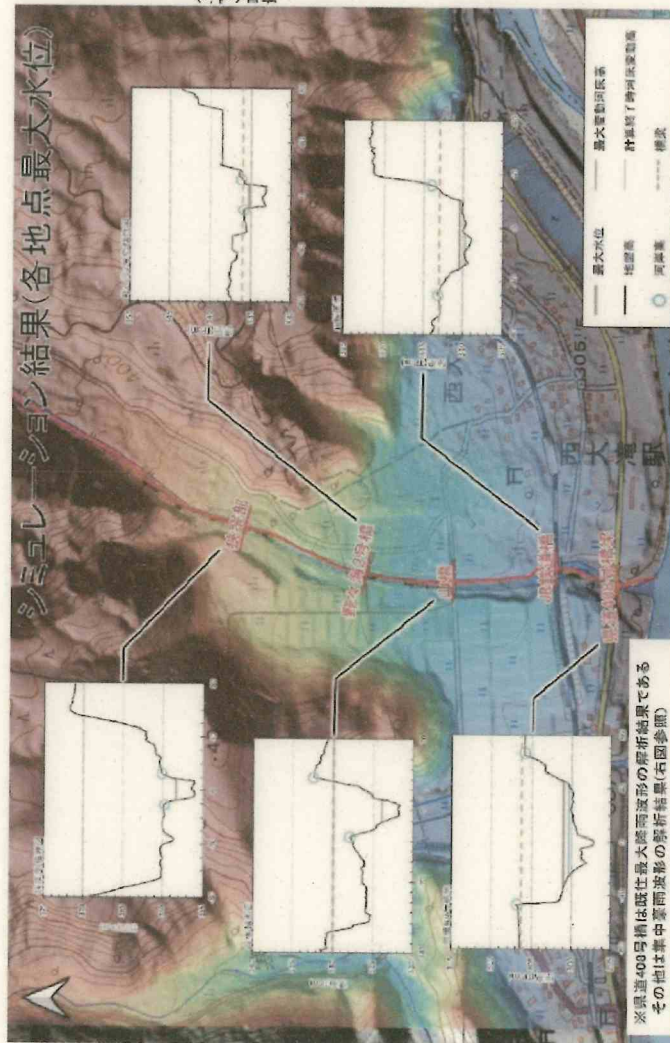
【飯山市】

- ・4/15～22 岡山活性化センターに自主避難所開設(終日)
- ・4/15～26 ドローンによる現場調査(天候に応じ適時実施)
- ・5/2 現地測量調査結果の速報を区長他へ説明
- ・5/26 飯山市水防訓練に併せ西大滝区民避難ルート確認(6名参加)
- ・5/28 前線及び台風1号により自主避難所開設
- ・6/3 野々海川警戒サイレン試験

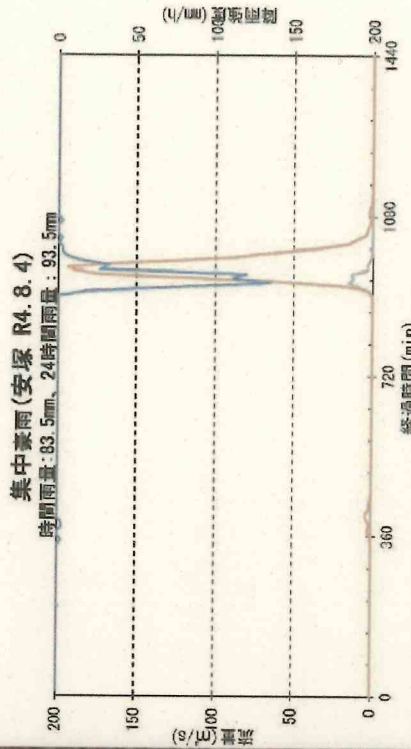
長野県 飯山市 西大滝地区緊急調査に基づく解析結果

□ 概要

令和6年4月9日発生 of 山腹崩壊により、野々海川河道周辺に残留土砂として堆積している。本検討では、出水により流出する土砂のシミュレーションを実施し、土砂による氾濫の危険性について評価を行った。



解析結果 (各地点における最大水位を記載)



降雨波形	ピーク流量(m³/s)
1 1年確率降雨波形	42.7
2 30年確率降雨波形	140.4
3 既往最大降雨	29.5
4 集中豪雨	193.4

※本検討では既往最大降雨の他3ケースの出水についても検討を実施

□ 土砂シミュレーション結果による考察

1. 解析区間において、最大水位は河岸高を下回っており、出水による流出土砂の影響で氾濫が発生する危険性は低い。
2. 崩壊地の残留土砂は流出を考慮しても、設定した4ケースの洪水流に流され河床や洪水位上昇に対して危険性を示さない結果となった。
3. 上記の結果は、崩壊土砂の粒度が細粒だったため、想定洪水によって千曲川まで流下したものと考えられる。

